

村のようす

(53年1月1日現在)

世帯数 1,472戸 (+2)
 人口 7,338人 (+9)
 男 3,623人 (+13)
 女 3,715人 (-4)

広報 たまかわ

編集・発行

福島県石川郡
玉川村役場企画課

印刷所

須賀川市加治町8-6
備 円谷印刷



泉保育所で豆まき

元氣いっぱい
 おにはーそと

先生、いっ豆まきするの

子供たちは、お面をつくりながら、豆まきを待ち遠しがっていた

いよいよ今日は節分

赤い鬼、青い鬼

自分たちで作った、色とりどりの鬼の面をつけ、小さな手からこぼれそうに豆をもって

元氣いっぱい、おにはーそと

お母さんの云うことをきかない鬼

先生の云うことをきかない鬼

こんな鬼はいないか

おにはーそと

豆をまく子、ひとつひとつ拾う子

皆んないっしょになって、かわいい声が

室じゅうこだましていた

春がまちどろしい子供たち

もうすぐ一年生 うれしいなあ

今春、小学校に入学する児童の就学児健康診断を実施しました。
該当児は昭和四十六年四月二日から、昭和四十七年四月一日までに生まれた児童で、男四十九名、女五十二名の合わせて百一名となり去年より四名少なくなりました。
父母に付き添われた子供たちは先生より、入学前に気を付けることなど、真剣なまなざしで聞いておりました。
身体検査は、六年生のおねえさんのお伝いをいただき、内科、歯科、視力測定を行い、さらに知能テストを受けました。

川辺小(十六名)

住所 児童名 保護者
川辺 熊田義泰 義明
須藤弘一 利弘
熊田和美 和也
熊田一憲 重義
田子一憲 重義
三瓶力弥 寿力
岩谷優規 寿光
坂本尚洋 洋一
磯目勝寿 国勝
小針照子 政治
小針美由紀 一夫
熊田和子 義一
野崎明美 力雄
矢部和江 一郎
白坂あけみ ヨシ
野崎嘉津子 節夫
吉村恵多 美

中

玉川一小(四十九名)
蒜生 佐藤美羽 貞雄
小高 小針靖子 悟雄
佐藤 小針靖子 悟雄
金沢 孝三 知夫
萩田 辰哉 富雄

岩法寺

溝井延枝 貞光
添田美千代 清勝
石井登正 登勝
小針達夫 正登
溝井成次 英雄
車田美代子 勝美
添田節子 友明
車田よし子 喜夫
関根和美 一夫
須藤和晃 重次郎
矢吹よし江 重次郎
矢吹俊哉 卓一
角田正彦 克彦
渡辺正隆 晃志
石井義文 繁義
永林ヒロ江 詔八
首藤芳春 芳雄
小針千恵子 康徳
水野信哉 勝義
小林めぐみ 正義
小林浅友 浅吉
高林浅輝 邦男
鈴木孝子 孝一
小村喜幸 喜作
飯村栄美子 清行
久美子 正行

竜崎

矢吹町

須釜小(三十三名)

佐久間 洋子 勝
吉田 登志江 正春
石森 吉上 貞三
石森 健一 庄二
小林 誠 誠一
小山林 友加 晴雄
鈴木 裕司 世志男
添田 誠 耕蔵
仁井田 祐次 佑郡
上野 洋子 英三
上野 忠志 英三
小林 なおみ 英三
鈴木 あけみ 芳男
鈴木 賢一 重勝
小村 恵子 覚雄
岡部 美代子 正雄

北須釜

吉

山小屋

南須釜 四辻分校(三名)
南須釜 榊村 明美 忠水
吉村 明美 忠水
四辻新田 渡辺 金吉 由三

大野 文枝 貞夫
大野 由紀 式吉
熊谷 美枝子 保勝
大谷 みどり 重幸
阿部 久美子 忠重
塩部 洋子 国夫
吉村 紀美子 文雄
石井 貞治 貞一
渡辺 忠博 忠房
鈴木 春子 三春
小針 清光 高郎
関根 正彦 資雄
関根 正彦 資雄
草野 光弘 直人
榊野 栄子 直人
塩沢 美子 直人
大和田 明美 直人
佐藤 忠志 直人
須釜 仁志 直人
森 照寿 直人
大竹 忍 直人
石森 ヒロ子 直人
滝口 ユリ 直人
松山 克則 直人



身体検査を受ける児童たち

明るいくらしの設計 簡易保険新加入運動



一月より三月末までを期間として「明るいくらしの設計」簡易保険新加入運動を実施中です。簡易保険は「郵便局の保険」と親しまれ、加入者将来の生活設計に、万一にそなえての保障に大きく役立つっております。国の財政投融資資金として豊かな住みよい町や、村づくりに役立つっております。
私たちの玉川村においても、住宅、学校、道路等の整備拡充事業資金として、一億三千万円余が融資されております。簡易保険がこれまでに発展し、お役に立てるのも皆様がたのご協力の賜と、感謝申し上げます。
当局においても玉川村の協賛を得まして「明るいくらしの設計」簡易保険新加入運動を推進しておりますので、豊かな住みよい村をつくるため、郵便局の簡易保険に御協力下さい。
写真は 簡保資金融資により完成間近い村営住宅 川辺郵便局

誓いも新たに成人式

一月十五日は成人の日、玉川村でも今年二十才を迎えた者、百三十九名ありました。

成人式には、百十八名の成人者と、来賓多数が出席し、就業改善センターにおいて、厳粛に行なわれ

ました。

全員で君が代を斉唱したあと、小針村長が「社会人として、基本的な教養を身につけられ、物事を正しく判断し、自分の行動に責任を持てる人間となり、新しい世紀



▲ 謝辞をのべる有賀恵子さん

をつくり出す担い手になってほしい」と式辞を述べ、成人証書と記念のアルバムが贈られました。

また、大野県議会議員はじめ、多数の来賓より、本日成人となられた方々に期待と、励ましの祝辞がありました。

これにこたえ、南須釜の有賀恵子さんが「輝かしい人生のスタートとして、この感激を心の奥に刻み込み、良き社会人となるためなお一層自己研鑽につとめますので、これからもみなさんの御指導をお

願います」と謝辞を述べ、参会者に感銘を与えました。

式終了後、須賀川地方ユネスコ協会長伊東勲先生の「青年に期待する」と題し、社会人としての生き方、社会奉仕の精神などについて記念講演があり、成人としての自覚と、責任の重大さを痛感していました。

最後に記念撮影をするなどして晴れやかな中にも、決意も新たに一日でした。

自動車の変更登録は

いますぐに!!

自動車税は、四月一日現在の車検証の名義人に対し、五月に課税されますが、次のような場合には、陸運事務所に登録変更手続きを行って下さい。

〔車を下取りに出したり

他人へ譲渡したとき〕

車検証の名義を、新しい所有者の名義に、直してもらいましょう。そのまましておきますと、その車の税金が今年もまた、あなたに課税されます。「車は一台しかないのに、二台分の税金がきた」というケースは、このような場合に多いようです。

〔廃車したとき〕

廃車を依頼したら必ず「まつ消登録証明書」を請求し、手続きがすんだかどうかたしかめましょう。

「廃車したはずなのに、税金がきた」という問合せが、非常に多いようです。

〔住所を変更したとき〕

車検証の住所も変更しましょう。せっかく納めようとしても、納税通知書が届かない。あるいは、納め過ぎとなった税金がもどってこない、など思わぬ障害が起きています。

登録関係は自動車会社又は、次の家用自動車協会が代行してくれます。

家用自動車協会

郡山支部 ④二二一五六七番

須賀川支部 ④三一二四八四番

石川支部 ④二二二六五三番

郡山県事務所

玉川村心配ごと

相談員きままる

玉川村心配ごと相談所の相談員として、次の四氏が新たに委嘱され、今後の相談業務を担当することになったのでよろしくおねがいいたします。

塩沢政与、川崎幸夫、塩沢直利、車田宇多子

(昭和五十二年十二月一日付) 日常生活の中の心配ごと、困りごとは気軽に相談下さい。

出張相談にも応じますのでご連絡下さい。

秘密は固く守り、一切無料です。(社協)



はんこを

お忘れなく

役場の窓口には、毎日戸籍謄抄本や住民票、それに印鑑証明書など各種の証明書をもらいに、あるいは届出や申請などのため、たくさんの方がおいでになります。最近、印鑑を持参しない方が多く再度おいで願うことも少なくありません。

そこで、スムーズな事務処理をするためにも、これからは必ず印鑑(認印)を持参しておいで下さるようお願いいたします。

使う火を 消すまで離すな目と心

—春の全国火災予防運動—



冬から春先にかけては、一番の火災シーズン——とくに二月、三月は火災の発生が多く、五十二年上半期(一〜六月)の四二%がこの時期に集中しています。

しかも、この火災による犠牲者は、二月だけで、最も少ない六月の約三倍、三百十五人ももの尊い人



▶ 消防団恒例の出初式
命が失われています。
今年も二月二十八日から三月十三日まで「春の全国火災予防運動」が展開されます。

消防白書の「なげき」
昭和五十二年版「消防白書」によると、五十一年中の出火件数は六万二千三百四件、これは戦後五番目の悪い記録で、しかも、この火災による死者は千六百四十八人、損害額は千六百六億余円にもなっています。

このことは、つまり全国のどこかで、毎日八分二十六秒ごとに火災が起こり、四億四千万円もの貴重な財産が灰になっている計算になります。

出火の原因は、「たばこ」「たき火」「火あそび」の順で、あい変わらずワースト三となっています。

尊い人命と貴重な財産を火災から守るためにも、ひとり一人がふだんから火の元に注意するとともに「いざ」というときにどうするかを、目ごろから家族みんなで話し合うなど、安全防災のレベルを高める努力が大切です。

あなたの消火できる範囲
どんな火災でも、はじめは「ボヤ」期を失せず、あわてず消火すれば火災を大きくしないで済みます。

火が出たからといって、さつさと逃げだすのは落第です。まず「火事だ」と大声で隣近所へ知らせるから早いうちに消火行動をとることが何よりも大切です。

火災のようすは、燃えている場所、燃えている物によってそれぞれ異なりますが、一般住宅の場



合、あすまなど火がついて、天井に炎が達するまでに、ふつう三分五分ぐらいいかります。

勝負の分かれ目、三分間
この三分間があなたにとって大切な初期消火の時間なのです。天井に火が入るまでが、初期消火の

限界です。
この「立ち上がり」の燃えを押さえることが初期消火の最大のポイントです。

煙や炎にまどわされず、あわてずに、落ちついて消火すれば、案外たいしたことなく火は消えてしまいうものです。



銃や火薬類の保管は厳重に
もうすぐ狩猟期間が終わります

狩猟シーズンも二月十五日でおわり。そこで大切なのは銃と火薬類のあと始末や保管です。

シーズンオフは、有害鳥獣を駆除する場合や、指定射撃場で標的射撃をするとき以外は、猟銃を使うことができません。

危険なものだけに、うっかり保管や、ちよつとしたミスが、人身事故をひき起こしたり、盗まれて思わぬ事件に使われるということにもなりかねません。

来シーズンまで銃や火薬類を安全な場所に、確実に保管することが、ハンターの義務といえます。

◇ 銃は、カギつきの「堅固な保管庫」に入れ、簡単に持ち運びができないようにしましょう。

そして、ときどき点検するなど、異状がないかどうかの配慮が大切です。

◇ 使い切れなかった火薬類は火薬店に譲渡するなどして、できるだけ自宅に置かないようにしましょう。どうしても置かなければならないときは、猟銃と火薬類は別々の「堅固な保管庫」で、しかも離れた場所に保管しましょう。

◇ 猟銃は、できるだけ分解して保管し、分解した銃身にもガンロックするくらいの慎重さがほしいものです。

矢吹さんら優勝

村民囲碁将棋大会

公民館主催の村民囲碁将棋大会は、一月二十九日に玉川村就業改善センターで三十八名が参加して開かれ、将棋A級では熱戦の末、参加者中最高齢(七十八才)の矢吹精助さんがみごと優勝されました。成績は次のとおりです。

囲碁A級	優勝	小針千代之助
	準優勝	矢吹光正
	三位	小針 悟
囲碁B級	優勝	角田文弥
	準優勝	三古隆之
	三位	久保木徳雄
将棋A級	優勝	矢吹精助
	準優勝	双里政博
	三位	高慶文男
将棋B級	優勝	佐藤貞雄
	準優勝	矢吹義隆
	三位	木戸峯夫
将棋C級	優勝	小林常美
	準優勝	小針 栄
	三位	双里正司

須釜中学校

晴れの受彰

交通安全優良学校

須釜中学校は、去る一月十九日東京日比谷公会堂で開催された、第十八回交通安全国民運動中央大会の席上で「交通安全優良学校」として、全日本交通安全協会々長から表彰されました。

これは、同校の教師、生徒、PTAの「交通安全」に対する不断の努力と、地域住民の理解ある協力が実を結び、県内ではただ一校の受彰となったもので、関係者の喜びもひとしおです。

同校では、長年にわたり、交通安全教室の開催により、体得したことを生徒自身、実践的活動を通して、その成果をあげており、特に自転車通学生には、「免許証」を交付し、交通違反に対する「点数制度」を設けています。



▲「感謝状」を手に喜びの代表者のみなさん

また、一般生徒の通学にも、規律部員が街頭指導するなど、一貫した運動を行っています。これを機会に、更に意識の高揚を図りますと、決意も新たにしています。



参加してみよう

三者のつどい

第3回三者のつどいは、2月19日(日)に、須釜公民館開館を記念して、須釜公民館で開かれます。

高齢者、婦人、青年の方々の多数の参加を待っています。午前10時より午後3時まで講師、市川栄太郎先生(言論科学研究所講師)

チームの登録はお早めに 野球協会受付け始まる

玉川村野球協会では、昭和五十三年度野球チームの登録を受付けております。

登録資格は、村内企業チーム、村内居住者で構成するチームとする。但し、学生は除く。

昭和五十三年三月二十五日まで、登録料六、〇〇〇円を添えて事務局(役場、石森)まで申し込んで下さい。

近世版 点と線

①

境界争いさまざま

岩谷浩光誌

はじめに

昭和五十一年六月号以来、本紙を通じて秘話二編を紹介しましたが、いずれも近世から近代へと大転換をとげる日本歴史の大渦の中に、ゴマ粒のような小さな存在で埋もれていた、村内の秘話を掘り起こしてみたわけです。

昭和五十一年六月号以来、本紙を通じて秘話二編を紹介しましたが、いずれも近世から近代へと大転換をとげる日本歴史の大渦の中に、ゴマ粒のような小さな存在で埋もれていた、村内の秘話を掘り起こしてみたわけです。

過去の二編は、人物を中心とした事件ですが、今月号からは対象を変えて、近世の土地論争事件をとりあげて見ることとしました。

前回同様ご愛読頂ければ幸甚にたえませぬ。現在執筆中の玉川村々史資料は予想外に、ぼう大な数量に達しております。

その中から掘り起こされたのが左記諸村での、土地論争事件であります。

もとより頁数が限定されている村史なので、一部始終について掲載することはできません。

このような事情もあるのです、広報紙上を借りて紹介し、村民多くの方々に知っていただくために、まとめた次第です。

我が部落、我が屋敷にもと、関

- ① 山小屋村と南、北両須釜村との境界論争(宝暦八、九年(一七五八、九))
- ② 川辺村と中野村との草刈り場論争(明治七年(一七七〇))
- ③ 小高村と中村との下川田用水堀論争(寛政五年(一七九三))
- ④ 中村と岩法寺村との秣場(まぐさば)馬、牛の飼料とする草を刈取る場所、後に特定地域の住民が共同で使用する、山林、原野をいう)論争(天明三年、(一七八三))
- ⑤ 小高村と藤生村との大堰用水分水論争(嘉永六年(一八五三))
- ⑥ 小高村と北須釜村との掛金地内論争(年代不詳)

まず、①を振出しにペンを進めることとします。山小屋村の村役人が連名で、江戸奉行所へ提出した訴状内容は、次の通りです。

恐れ乍ら書付を以て御訴訟申上げ奉り候 (北須釜 鈴木一夫氏 蔵書)

小林弥四郎御代官所 (搞代官)

奥州石川郡山小屋村 訴訟人(原告)

名主 半兵衛 与頭 市右衛門 百姓代 喜左衛門

強勢(強制的)に切荒し並びに立木伐り倒され候出入(出たり入つたり)即ち争いごと)

松平越中守様御領分 (白川藩主松平定覽)

同国同郡南須釜村 庄屋 音右衛門 同人 小平治 組頭 儀左衛門

同国同郡北須釜村 庄屋 角右衛門 同人 武八 組頭 勘右衛門 同 嘉右衛門 同 藤右衛門

(以下百姓四十七人連記しあるも省略)

(以下百姓五十人連記しあるも省略)

(つづく)

急病患者に朗報!

53年から

当番制で休日診療

昭和五十三年から石川郡医師会の協力を得て、休日診療のための在宅当番医が、次のように決まり診療を開始しました。

なお、診療を受ける方は、次のことを守ってください。

① 診療時間は

午前8時30分から
午後4時30分まで

② 急病患者を対象とするもので往診は行いません。

③ 診療を受ける時は、必ず保険証を持参してください。

電話番号

変更のお知らせ

石川四局廃止→六局へ

このたび石川局の電話設備拡張工事が完成しました。

これに伴い、石川四局に収容されているすべての電話番号が、六局に変わります。

したがって、変更になった電話番号へダイヤルすると、自動的に「電話番号変更」の案内が自動的に

月別	該当月及び在宅当番医療機関名					
2月	5	⑪	12	19	26	
	谷(医) 角田外科	原外科 富(医)	松浦外科 大(病)	川(医) 竹(診)	内(医) 田(医)	
3月	5	12	19	⑫	26	
	野(眼) 石川中央	山(医) 矢吹(医)	大(診) 吉田(医)	岡(産婦人科) 中(病)	瓶(科) 味原(医)	
4月	2	9	16	23	⑬	30
	田(医) 大(医)	田(産婦人科) 杏林堂(医)	田中内科 沢村(医)	谷(医) 角田外科	原外科 富(医)	松浦外科 大(病)

◎ 救急協力病院は、大野病院、中島病院です。

すから、お手数でも案内係(一〇四)へおたずねになり、一度おかけなおしてください。

変更日時 三月八日午前〇時
石川電報電話局

スキー教室のお知らせ

お知らせ

公民館では2月26日奥岳スキー場にて行ないます。5日前まで公民館へ申し込んで下さい。

対象者 村内の高校生以上の青年男女(初心者歓迎)

募集人員 50名(バス)
会費 無料
講師 岡崎茂春先生
日程 玉川役場前(七時)↓
須釜支所前(七時十分)↓
岳着(八時三十分)↓
玉川着(十六時三十分)

用意するもの スキー用具(貸しスキーは一セット)
一、五〇〇円です。
昼食・防寒具など。

三種混合予防接種

について

百日咳、ジフテリア、破傷風の三種混合予防接種を、次により実施しますのでお知らせします。
第一回 二月三日(金)
母子センター
二月四日(土)
須釜公民館

第二回 二月二十七日(月)
母子センター

二月二十八日(火)
須釜公民館

第三回 三月二十七日(月)
母子センター

三月二十八日(火)
須釜公民館

時間はいずれも、午後一時三十分～三時までです。
対象者 昭和四十九年二月一日～五十二年一月三十一日までに生まれた者で、過去に二種、または三種混合の予防接種を一度も受けていない幼児。

※ 当日は母子手帳、及び予防接種問診票を必ず持参して下さい。(問診票は役場、または各地区の保健婦補助員宅にあります。)

尚、この予防接種は三回接種を受けないと、完全な免疫はつきません。



二月公民館関係行事

- 1日 予算書提出・須釜公民館開館
- 6日 茶道教室
- 7日 書道教室・新婚学級
- 11日 建国記念の日
- 13日 茶道教室
- 14日 書道教室・新婚学級

19日 三者のつどい(十時)
須釜公民館

20日 茶道教室・祭礼報告
スポーツ傷害保険説明会

21日 書道教室・新婚学級
社教主事定例研修

26日 スキー教室(奥岳スキー場)

27日 茶道教室

28日 書道教室・新婚学級
月末統計

おめでた

(十二月分の出生届書から)

地区	出生児氏名	保護者名
川	辺 鈴木 隆	和 夫
蒜	生 真弓 泰郎	泰 行
小	高 高原 真人	昭 一
中	高 高林 和也	重 和
岩	法 寺 佐久間 英崇	英 一
竜	崎 小林 和行	徳 清
"	小林 はつみ	八 朗
"	石井 忍	清 蔵
南	須釜 円谷 光男	勝 夫
"	松本 裕和	純 夫
"	須釜 清三	富 美夫
山	須釜 志郎	" 夫
小	石森 友和	力 男

おくやみ

(十二月分の死亡届書から)

地区	死亡者氏名	年令	世帯主名
小	大竹 賢彰	4	克 巳
中	永林 定雄	60	詔 八
北	須釜 小林 ヨシ	64	元 重
"	塩沢 スキ	79	金 吾
北	須釜 榊 虎三	75	虎 雄
新	田 太田 ハツ	78	松 四郎